

当院職員による入院患者さんへの虐待事案について

令和7年12月、職員による患者さんへの虐待を疑う事案が発生し、病院から関係自治体へ通報をいたしました。通報した事案の内容としては、排泄介助の場面において、虐待に該当し得る発言を行ったものです。

その後、自治体による調査が行われ、その調査内容を基に審議された結果、性的虐待にあたる旨の調査結果の通知がありました。

本事案を受け、当院の障害者虐待防止対策委員会で原因分析を行い、再発防止に向けた研修会の実施等、これまで以上に虐待の防止に取り組んでまいります。

この度は、患者さん及びご家族の方々に多大なるご不安やご心配、ご迷惑をおかけすることになり、心よりお詫び申し上げます。今後も、職員一丸となり信頼回復に全力で努めてまいります。

令和8年9月18日

独立行政法人国立病院機構

福島病院

院長 杉浦 嘉泰